

## ロシア軍によるウクライナ侵攻に断固反対！ JR東労組青年部 緊急声明発出！

あらゆるテロや戦争に断固反対！

今こそ、平和で安心して暮らせる社会を仲間と共にめざそう！

2022年2月24日、ロシア軍がウクライナへ侵攻を開始した。報道によれば、ロシア軍がウクライナ各地の軍事施設や滑走路を攻撃し、多くの尊い命が失われている。

JR東労組青年部は、あらゆるテロにも戦争にも断固反対である。そして、私たちは戦争の「被害者」にも、「加害者」にも、「加担者」にもならない！ということを明確に訴える！

これまでJR東労組青年部は、沖縄平和行進やヒロシマ現地学習行動を通じて、現地に立ち過去の歴史を学び反省することで、同じ過ちを繰り返してはならないことを学んできた。さらに昨年、21春闘や夏季手当、年末手当のたたかいを通じて、「会社とは何か？」「労働者とは何か？」について仲間と学び捉え返したことで、「おかしいと思っけていても労働者は一人では何もできない弱い存在であること」「労働者は団結してたたかうこと」を明確にしてきた。ウクライナ情勢だけを見ても、いかに戦争を推し進める権力者のたちの利益になるかが優先され、その犠牲になるのが市民であり、労働者である私たちである。私たちが、今起きている現実を他人事にして放置することなく、行動していかなければ平和で安心して暮らせる社会はつくり出せない。

私たちは、無関心でも無関係ではいられない。今こそ、自分たちの未来を真剣に考えるべきではないだろうか。労働者の「いのち」が犠牲になる世の中でいいのだろうか。

私たちは、過去から目を逸らしてはならない。1938年、産業報国会結成から、アジアで約2000万人、日本で約310万人の尊い命が失われた現実と労働組合が自ら戦争に加担してしまった事実を受け止め、二度と同じ過ちを繰り返さないために行動しなければならない。

そして、決して押し付けではなく、仲間と共に価値観を一致させながら、「いのち」を守る取り組みを推し進め、憲法改悪・あらゆる戦争政策に反対し、平和で安心して暮らせる社会の実現を目指していく決意である。

ロシア軍によるウクライナへの軍事攻撃をはじめとしたあらゆるテロや戦争に断固反対し、平和な社会の実現に向けて、共にたたかおう！

2022年 2月26日  
東日本旅客鉄道労働組合青年部  
中央常任委員会



職場の仲間と今起きている情勢について議論し、  
「いのち」や「平和」について考えよう！